いわき民報
巻一八三番地電話四四番
印刷編集兼発行人　巳克輝子
但月曜を除く日刊
一ケ月廿五円一部七十銭
発行所　いわき民報社

榮えの供米功勞者決る

軍政府から二十三日表彰

福島軍政府では二十三日供米に優秀な成績をおさめた町村と個人を表彰するが、この榮えに浴することになつた郡關係者は第一位で完遂した磐崎村岩ケ岡翁本源一郎氏（一四六俵）及び最優秀な供出指導者たる勿來町安島幸氏の三氏と決定されたなほ午前中は知事表彰もあり、午後は飯坂温泉で慰勞をかねた座談會も開かれる事になつた

會場、磐崎、鹿島、綴の各校で催すが講師は平保健所寄沼万長種頭技師

性病科

内科

平市鹽田町　矢吹醫院　電828

バター特配

七月以上の妊婦に平保健所では列車の押收品のうちバターを妊産婦並に結核患者へ特配すべく平署と交渉中だつたがその第一回分として二十日から保健所で發行の配給券で市内七ケ月以上の妊婦へ一人半ポンドの雪印バターを配給する、價格九十九円二十錢

金刀比羅様大祭

十九日に執行

湯本町鎭座の金刀比羅神社大祭は舊正月十日の十九日執行されるが當日は平及び小名濱方面からの人出多く見世物小屋等も出來たので自動車も增發終夜運轉をみるので非常に賑いを呈しよう

◆診察日　結核、性病、傳染病、其他一般
◆相談日　妊産婦乳幼兒
右の診察、相談日を當分の間毎週火、木、金曜日にいたしました
平保健所

三町村協組

創立總會

現在では五町村

赤井、永戸兩村の農業協同組合創立總會は來る二十日に鹽岸町では二十九日に開く筈なお現在既に郡内で完了町村は勿來、夏井、山田、田人大浦の五組合だけである

扶助廢止も

十五世帶

市の生活調査の結果、今度扶助廢止十五世帶（減額八十二世帶、增額は十六世帶）を出した、これがため差引二万四千四百二十一円（增額十六世帶（二千九百六十六円）減額八十二世帶（一万七千七百二十四円）減額八十九千六百六十七円）を扶助者中にはいかがわしいものもあるので、この程民生委員を總動員して愼重調査の結果、

いわき寸言

▽小荷物車の急襲つゞく、傳手に押收品の處分方法も公表されたいとは大衆の聲▽民主の世といえ相變らず網にかゝるは雜魚のみ大魚にどうしてつかまらぬのかナ▽明朗とは屁理屈をいわない、こと、かくて國も市も村も明るくなります

市の資態調査

會社側の回答を受諾

小名濱水素の鬪爭解決さる

日本水素小名濱工場勞組大會は十五日全工場講堂に開き會社側回答がさきの円額七十九万円に更に二十八万円の增額されたので右について無記名投票の結果八十票の差で同日午後六時半會社側回答を承認することになりこゝに鬪爭問題も円滿解決、明日の增産になお勞組側の要求案は円額百五十万円であつた

省營トラック

開通祝賀

二十一日湯本町で

湯本石川間省營トラック開通並に湯本自動車區設置祝賀式は二十一日正午盛大に擧行と決定

湯本公安民生兩委員會

湯本町民生委員會は二十日午後一時から役場會議室で全日午後一時から公安委員會を開く

常任鬪爭委員は改選

配炭公團常磐支團從業員組合では十七日本社ホールに臨時大會を開いて、從來の鬪爭經過の報告後、常任鬪爭委員十名の改選問題は賛否兩論で紛糾したが結局投票により決をとつたが結局投票により決をとつた結果、改選することに決つた、なお改選は二十五、六日になる豫定である

乳兒用砂糖の決定

登錄制

24、5兩日に

乳兒加用砂糖の配給方法は十六日の縣需給調整委員會で左の如くに決つた、なお小賣店の立候補は十七日から二十一日までに市町村長に申請書を提出し、まとまつた登錄票數を回收し資格を名乘り出るのが二十六日で、資格決定は月末である

希望者が小賣店に登錄する日は二十四、五の兩日、購入券は二十四日までに各市町村役場から配布され小賣店が資格を得るには市は一店當り二十枚、町村は十五枚である

部長派出所設置陳情

磐崎村消防團長吉田直太氏は自治隊結成に關し磐崎村は人口一万一千戸數二千戸を有する大部落なので是非部長派出所を設置してもらいたいとの希望を持ち村内有志の人々と計つて陳情する事になつた

性病豫防の映畫と講演

常磐炭礦では十八日から二十一日まで四日間、平保健所の後援でヤマから花柳病の一掃をめざし花柳病の豫防映畫と講演會を湯本自治會館で催すが講師は平保健所寄沼万長種頭技師

市振興復興に目覺しい

住宅建設

前に戻つた住居難

だが變らず

戰災地平市の住宅復興は資材難の惡條件にもかゝわらず最近自力で建設するものも增し復興意欲目覺しいもの、戰災並に強制疎開での喪失家屋は千五百戸、これに對し住宅營團市營分譲住宅及び自力建設（うち市營住宅五十三戸、分譲住宅四十

平市仲町（電六一五）
内科　小兒科
三井醫院
三井五郎

毎日實演技術指導責任販賣
改良型 布川式 センベイ膨脹機
特種合金使用燃料經濟
引揚者 罹災者ノ再起ニ業ヲ託加工
布川機械　平市六丁目（電184）
所店　商業　營東　平伊

石城の畜産 ②

福島縣農業會産業課蠶糸業石城地方事務所勤務　技師
松本榮

三、郡下の各家畜

郡下の家畜の中で馬綿羊鶏は縣下で優位を占めている。

郡下の一三、七〇〇〇町歩の耕地に施す肥料の大部分は畜舍から提供するものであつて金肥は眞に少く補助程度にしか過ぎない。

家畜の分布狀態は大別して山間部、中通り及び濱部の以上三つに區分出來る。

山間部に於ては（川前村、上小川村、永戸篤輪村、澤渡村、入遠野村、上遠野村、渡邊村、山田村、田人村）馬、綿羊を飼育している。

中通り及濱部の一部は牛及中小家畜を飼育している。

養蠶地帶である山間部は綿羊を飼育しているのは『桑葉』『蠶糞』の個科化的利用によつて關連性的に發達して來たものである。

山間部に於て馬を飼育しているのは先ず地勢、耕耘牧野等の立地條件と經濟的の要求により今日の馬產地帶となつたのである。

中通り濱部は牧野の不足及ひ平窮耕作地による水田、畑作（蔬菜類の栽培）等の立地條件又他の產業關係により一部に馬を便宜し牛其他家畜の飼育地帶となつたのである。

何牛市湯本、種田、四倉、小名濱、江名の各町を中心として小運搬用のひき牛馬が飼育されている。

乳牛に於ては中通りの泉、內郷、赤井、草野、中、大野の一市五町村に於て飼育している、これは近郊都市と炭鑛地帶を控えている關係から乳牛の飼育地帶となつたのであるが現存の乳製品の不足を補う事は未だその域に達していない。今後一般の人々が乳製品の活用を高度に利用しなければならないと云う事は何人も熟知しているが現在の經濟狀態に於ては到底一般的に利用出來ない。

養鷄は泉村を中心とする各町村別に於て發達しているが專業的には行はれていない、然し農家の副業の面から視て非常に重要性となしている。

次ぎに家畜を飼育する上に重要な郡內の牧野關係は次ぎの通りである。

町村別	牧野	採草地	合計	放牧家畜頭數（馬綿羊牛）
田人村	陸 一二六三	陸 一二九	陸 一三九二	四一九頭
永戸篤輪村	六〇	二四	八四	八〇
澤渡	阪村 八一三	三四二	一一六五	三一五
上遠	野村 七六	二〇	九六	一一〇
入遠	野村 二八七	四七六	七六三	九九二
磐崎	村 五九	一	五九	一一六
川前	村 九八二	三四五	一三二七	四三四
合	計 二五五〇	陸 二四三六	陸 五九八六	陸 一三九九

四、各ヤマ別の貯炭

各山元貯炭別は左の通りとなつている（單位トン）

▲東北 ◇常磐湯本六、一六、全内郷八、一六六〇全磐崎一、〇二〇◇古河好間三、一三〇◇大日本勿來三、八九二◇小田三、九二三◇陽田川八一〇◇矢郷七二九◇磐七二四◇戸部八五四◇上山田三、二四◇日曹赤井一、〇七九◇全福島七三六◇三松二九五◇小野田二、八四一◇品川黑田二、九三一◇三和一、一五二◇田川五、九〇一◇其の他七〇〇〇

▲東部 ◇中郷二、三五四◇神ノ山六六六◇大日本磯原一、〇三五◇區歌七、四〇二◇極形一、五二三◇山口一、三八九◇重內二、〇六九◇上山二鑛一、二〇〇◇上田二四一◇常磐谷岡三四五七〇◇關本二一七◇其他九、五〇〇

困窮者救濟の街頭募金

市では十六日平女生徒二十一名の協力から生活困窮者基金募集を行つた結果二千百二円十二錢の成績をあげた

基金募集

市役所新職員組合同胞援護會中市支會共催で來る二十一日、六時から市公會堂に木村若衆一行を迎へての基金募集浪曲興行を行ふ

千物泥御用

十七日午後一時半頃四倉町仲町無職窃盜前科一犯松田常吉（四九）は平市七丁目會社員飯島止太さん（三八）方の物干から木綿タオルを盜まんとして捕へられ平署へ突き出された、全人はこのほかなる十五日頃千葉縣山武郡片貝町某

灰田勝彦弟兄

決る 取り 演 公園

平市川部興行社及び湯本町菅野興行社では流行歌手灰田勝彦及び晴彦とその樂團一行を招いて二十日水戸、二十一日小名濱町、二十三日平南、二十四日勿來、二十五日內郷、二十六日三春、二十七日福島市、二十八日須賀川、二十九日郡山三月一日若松、二日喜多方のコースで開演する

洋服店から

洋服店からホームスパン服地四ヤールと全町漁師大木義道さん方の不在中土間にあつた女兒用雨合羽一枚その他四倉小名濱をまたコソ泥數件を働いていたもの

髪洋とパーマ

最新式無電パーマ
新技術良かゝる
當店を御利用下さい
婦人部龍軒直通 角〇丁五 横町局 平商

親切に

早く 安く 立派に
婦人洋服仕立修造
洋裁店
世界館向側 平銀白町

正確。安價

時計の店
サービスの街銀座街
サービスの店
誠光堂
平市銀座街 電982

モノ洋服

高價・親切
買入
平駅前白銀通り
福屋

停電に？

安くて明るく持ちの良い
用 發
代 ローソク 賣
あらゆる百貨問屋 さかいや
平市六丁目通電弐五八

◇小型自動車修理部

ダイハツ、ダットサン、マツダ、くろがね
平市 平和通 三浦商會
電八六四番

健康のモトは

毎月一回清腸日を
1 腸の寄生排除（清腸）
2 回虫蛔虫の驅除（虫下シ）
3 レバロン、カルシウムの榮養藥の補給
（ツカレ、ムシワカズ）
日本醫民學會研究會
國民健康保險藥劑師
公衆衛生師 阿部康雄
藥劑師 阿部康雄
阿部康雄藥局
平市田町銀座街

產婦人科

齊藤醫院
院長 齊藤正雄
平市西町電九〇二
◇入院室完備◇